



中里市民センター 創立40周年記念事業開催

中里市民センターは、昭和55年度に中里公民館として設置され、平成27年度に中里市民センターへ移行、今年度で40周年を迎えました。これを受けて、中里まちづくり協議会では2月16日に役員会を開催し、生涯学習及び地域づくりの活動の場として更なる発展を祈念して、中里市民センター40周年記念事業を右下記のとおり開催いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策「3密の回避」を図るため、参加者は当祝者及びまちづくり協議会構成団体とします。記念事業の経費については、まちづくり協議会の予算から執行することとし、記念誌及び祝賀会の実施については令和3年度に感染症の対応を鑑みて取り組むこととします。



- 中里市民センター創立40周年記念事業
- 1 期日 令和3年3月27日(土)
 - 2 場所 中里市民センター
 - 3 内容 創立40周年記念式典・記念表彰

3月11日は 「となりきんじょ防災会議の日」

～災害に備え、となりきんじょで顔の見える関係をつくろう～

2月13日23時08分に発生した福島県沖地震は、一関市で震度5弱を観測しました。この地震は10年前に発生した東日本大震災の余震と言われています。幸いにも、大きな被害の報告はありませんでしたが、不安な気持ちを抱いた方も多かったのではないのでしょうか？

「となりきんじょ防災会議の日」は、東日本大震災の記憶を風化させないように語り継いでいくため、家族や地域、また事業所など身近な人たちと防災について話し合い、災害に対する備えを確認し、一関市の防災力を向上させていくために制定されています。

2011年の東日本大震災(3月11日)、大きな余震(4月7日)を思い出し、あの時困ったことや苦勞したことは何だったのか、そうならないためにやっておくことは何かを家族・ご近所のみなさんともう一度話し合ってみましょう。そして、非常用持ち出し品の確認をし不足物品の補充や困っていることを家族や近所で対応策を話すことで、いざという時に困らないように備えておきましょう。

【参考】非常用持ち出し物品例 (マイ・タイムライン資料より)

～ 荷物の重さは「走れる重さ」までです ～

- * 避難時の安全確保の物品(リュックサック・グローブ・LEDライト他)
- * 情報収集と安否確認の物品(一関市防災マップ・モバイルバッテリー他)
- * 避難先での体調管理の物品(携帯トイレ・ウェットティッシュ・着替え・薬他)
- * 避難先で役立つ物品(アルミラケット・万能ナイフ・ポリ袋・テープ他)
- * 水と食料(飲料水・非常食他) * 貴重品(現金・貴重品入れ他)
- * 個別用品(補聴器・持病の薬・赤ちゃん用品・生理用品・パット用品他)

【参考】東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)

2011年(平成23年)3月11日発生。一関市内で震度6弱を観測。建物の倒壊や道路の寸断等甚大な被害を受けました。また、長期間の停電や断水、燃料不足に見舞われ、日常生活が完全に麻痺しました。

2分の1成人式開催します

中里まちづくり協議会、未来プロジェクトでは、今年度10歳を迎える中里小学校4年生を対象に、2分の1成人式を行います。20歳までの振り返り地点に立った子ども達が、心豊かにたくましく成長することを願って実施いたします。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、密を避けるために中里小学校体育館を会場として行います。

式は「祈願祭の部」「2分の1成人式の部」の2部構成になっています。

神事後、鶏舞の演舞に続いてこども達からの抱負、保護者からのメッセージを予定しております。

日時 2月27日(土)

受付12時30分～

開式13時30分～

場所 中里小学校 体育館



↑ 昨年の記念撮影の様子

行政区防災マップリモート発表会開催

中里まちづくり協議会(第2プロジェクト)では、2月13日(土)に「安心・安全な地域づくり」を目指して、行政区防災マップについて発表会を行いました。

コロナ禍でも多くの方と防災対策を共有できるように、3密対策として「リモート」で会場を結ぶよう工夫しました。

当日は100人を超える地域の方に参加いただき、中里放課後子ども教室「ぼうさい探検マップ」の発表を皮切りに、行政区ごと今年度の見直した点を発表を行いました。

折しも、発表した晩に震度5弱の地震が発生。深夜にも関わらず、民区内の一人暮らし世帯を訪問して安否確認・安全確認を行った民区もあったと報告を受けています。一人暮らしの方からは「深夜にもかかわらず、区長さんが心配して来てくれた。なんの被害もなかったが、顔を見て・声を聞いて・心配してもらえたことで涙が出るくらい安心した」という声をいただいています。また、翌日にはPTAの会長が中心となり、各民区で通学路の安全確認を



実施したとの報告をいただきました。これからも、日頃から地域が繋がり、防災意識を高めるよう取り組んでいきましょう。

← 会議室等 4 会場をリモートで結んでの防災対策の発表

放課後子ども教室 (お知らせ)

今年度の子ども教室の活動は、2月25日で終了しました。

28名の指導員さん方に見守られる中、年間68回開催し、延べ1,600人の子ども達が活動しました。

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、4月～5月は一時休止となりましたが、緊急事態宣言解除後にはコロナ禍でも安心・安全に活動ができるように「正しい手洗い教室」で感染症対策を学び活動を行いました。毎週木曜日は宿題や自由遊びをしながら、社会性や人に対する思いやり・協力する力や自己肯定感などを身につけることができました。特別プログラムとして、夏はレスキュー訓練見学・沢登りに挑戦、アマビエ祭り、秋は中里探検(佐々木牧場)、文化祭(中里カフェ)、冬は凧作りと凧揚げ祭りなど、豊かな中里の自然の中で、子ども達がのびのびと活動を送ることができました。

今年度のぼうさい探検マップは、洪水対策を学び「命や財産を守り安全に暮らせるようにするにはどうしたらよいか」について子ども達が話合っテマップや紙芝居などを作り発表を通し深く学ぶことができました。

様々な条件下であっても、いろいろな体験や活動ができたことで子ども達はとても心優しく逞しく成長できました。改めて指導員のみなさん感謝申し上げます。ありがとうございました。



来年度の活動は4月から開催する予定です。楽しみに待っていてください。

※詳しい日程については、次回お知らせする予定です。

着付け講座挑戦中

中里市民センターでは、生涯学習契機促進事業として和装着付け講座(受講者7名)を1月16日から(全6回)実施しています。

日常生活から縁遠くなりがちな「和装」ですが、受講生の方々は改めて講座を重ねる度に日本文化の奥ゆかさを実感しているところです。着物をきれいに着るための「補正」や着崩れしないような襦袢・着物の着付けや二重太鼓(帯結び)のポイントなどを学んでいます。「より楽にきれいに着用できるコツを知ることができて、長年の悩みが解決できた」など、笑顔で受講していただいています。



↑ 二重太鼓に挑戦中!!

インフォメーション

INFORMATION

- 3/1 ・冬に負けない体づくり講座
- 3/3 ・いきいき100歳体操
- 3/6 ・着付け講座
- 3/10 ・いきいき100歳体操
- 3/17 ・いきいき100歳体操
- 3/18 ・中里大学運営委員会
- 3/24 ・いきいき100歳体操
- 3/27 ・中里市民センター40周年記念式典

《新型コロナウイルス感染症予防対策》
上記予定した講座等の中止・延期等の対策を行う場合があります。
詳しくは、中里市民センターまでお問合せください。



↑ 7月に開催したレスキュー訓練に挑戦の様子